

クリスマス・スペシャルナイト「オーロラのひかりに包まれて」実施報告

西野 藍子 *

概要

2015年12月25日(金)、12月26日(土)の2日間、国際光年の協賛イベントとして、スペシャルナイト「オーロラのひかりに包まれて」を実施した。本稿では、このスペシャルナイトの構成や内容について、参加者へのアンケート実施結果と併せて報告する。

1. はじめに

このスペシャルナイトは、当館のプラネタリウムホールを使って極北の空でのオーロラを疑似体験することで、写真などでは知ることのできないオーロラのダイナミックな動きや光の変化を感じ、神秘的な地球の自然現象についての知識と感動を深めてもらうことを目的として実施したものである。構成・演出については、オーロラ写真家の中垣哲也氏に委託し、筆者との共同で進めた。内容は、極北で撮影されたオーロラ映像と中垣氏選出のクラシック音楽とのコラボレーションや、中垣氏による極北での生活と感動のオーロラ体験談、筆者によるオーロラの科学や極北での星空についての解説などであった。さらに、ドームいっぱいにひろがるオーロラの下での中垣氏と筆者による即興かけあいトークも展開した。

2. 実施概要

このスペシャルナイトは、平成26年に実施したオーロラのスペシャルコンサートと同様に需要の多いイベントであるとの判断から、2日間の2回公演という形をとった。チケットの前売り、メール予約を2015年10月27日より開始したが、反響も予想通り大きく、各日ともにチケットは完売となった。以下に実施要項を示す。

- ・タイトル: 国際光年協賛クリスマス・スペシャルナイト
「オーロラのひかりに包まれて」
- ・日 時: 平成27年12月25日(金)、26日(土)
19:00~20:30
- ・場 所: プラネタリウムホール
- ・対 象: どなたでも(おもに大人の方向け)
- ・料 金: 1,500円(各日)
- ・定 員: 300名(各日/先着順)
- ・チケット: 前売り、メール予約
- ・スケジュール:

- 17:30 準備・会場設営、リハ
- 18:30 開場
- 19:00 開演(西野あいさつ、中垣氏紹介)
- 20:30 終演
- 20:40 物品販売、中垣氏によるサイン会
- 21:00 撤収完了



図1. チラシ(左:表/右:裏)〈永原氏デザイン〉

3. スペシャルナイト当日のようす

スペシャルナイト当日のようすを、以下(1)~(10)に写真とともに記す。

(1)開演あいさつ

今回、映像や音楽等の操作を行っていただく都合上、

* 大阪市立科学館 学芸員
E-mail: nishino@sci-museum.jp

中垣氏にはプラネタリウムホールの後方にある投影台でお話しをしていただくことになった。そのため開演時には筆者が前で挨拶をし、後方にいる中垣氏を紹介した後、後方より中垣氏にご挨拶いただいた。



写真 3-1. 開演前のようす



写真 3-2. 開演後、後方より挨拶をする中垣氏

(2)ニュージーランドの低緯度オーロラ

最初に映し出したのは、ニュージーランドで撮影された低緯度オーロラの全天映像である。オーロラは、北極や南極のまわりを取り囲むようにドーナツ状にあらわれるため、通常はアラスカやカナダ、グリーンランド、南極などの高緯度地域で見られるが、激しいオーロラがあらわれた時には、それよりも緯度の低い地域で赤いオーロラを見られることがある。これを低緯度オーロラと呼ぶ。まずは、そうした珍しい低緯度オーロラをお楽しみいただいた。ニュージーランドは南半球の国のため、赤いオーロラと南天の星が輝く中、中垣氏と筆者による即興のかけあいトーク「南天の星空ですから、オーロラとともに南十字星も見えていますね〜」「実は、こちらニセ十字なんです」なども展開した。

(3)大阪→極北の星空へ

次にプラネタリウムの星空を映し出し、筆者が今夜の大阪の星空解説を行った。オリオン座やおうし座、カシオペア座、北極星など、この時期に見える星を紹介。その後、緯度を変更して極北での星空を再現した。極北では北極星が北の空高いところで輝き、オリオン座やおうし座は地平線を這うように動く。同じ地球上でも場所によって星座の見え方が違う、ということを紹介した。

(4)アラスカ体験

続いて、中垣氏よりアラスカでの生活や大自然のようすを、写真をふんだんに盛り込んでお話いただいた。さらに美しいオーロラをどのように撮影しているのか、実際に使われている機材や撮影風景も写真を交えてご紹介いただいた。フィルムからデジタルへ変わったこと、パラパラ漫画のように写真をつなぎ合わせて動画を作成されていることなどをお話いただいた。

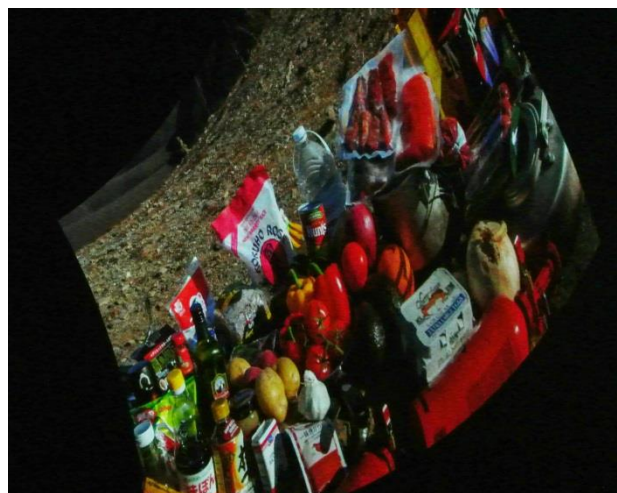


写真 3-3. 買いこんだ食材たち



写真 3-4. たくさんの撮影機材

(5)アラスカの夜空にあらわれたオーロラ

たくさんの撮影機材を抱え、アラスカの雄大な自然を堪能しながら、夜になればオーロラをひたすら待つ…。

そんな撮影秘話の後、中垣氏の演出でオーロラ映像とクラシック音楽とのコラボレーションをお届けした。



写真 3-5. 全天にひろがる美しいオーロラ

(6)オーロラはなぜあらわれるのか？

オーロラのひかりはどのように発生するのか？オーロラ発生をCG映像とともに筆者が解説した。さらに、オーロラの色や形については、中垣氏撮影の写真とともに、筆者と中垣氏がかけあいトークをしながら紹介した。

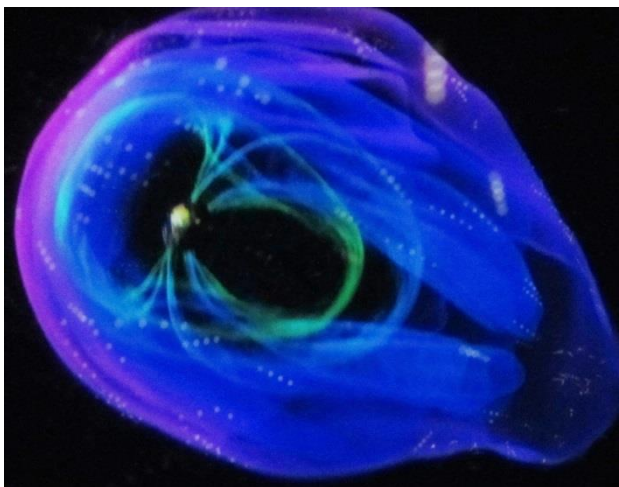


写真 3-6. オーロラ発生の解説CG



写真 3-7. さまざまな色や形のオーロラ

(7)ふたたび、アラスカの大自然へ…

今度は、ふたたびアラスカの大自然について中垣氏よりお話があった。ここでは、おもにアラスカで出会う植物や動物たちについてお話いただいた。アラスカには様々な動物が暮らしており、その野生のすがたを中垣氏が写真に見事にとらえていた。ドームに映し出された動物たちの写真は、どれも大変臨場感のあるものばかりであった。

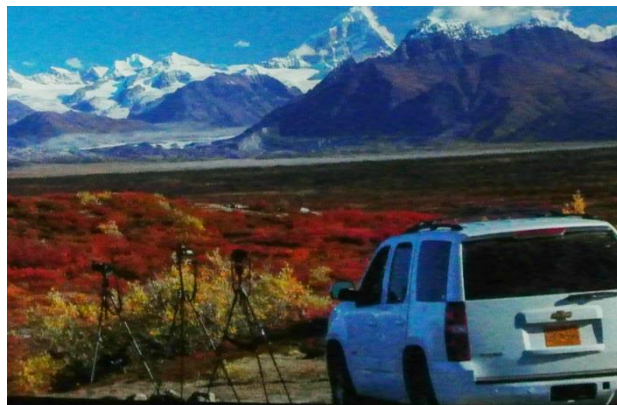


写真 3-8. アラスカの大雄大な自然と三脚と…

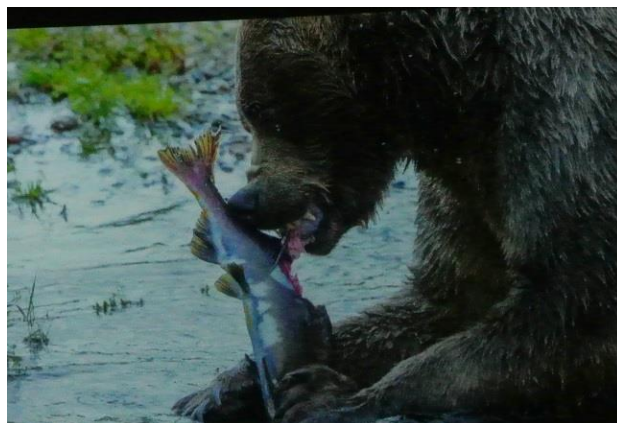


写真 3-9. ホッキョクグマ



写真 3-10. カリブー(野生のトナカイ)

(8)秋のオーロラ

続いて全天に映し出されたオーロラは、アラスカの秋の季節に撮影されたオーロラ映像である。ふたたび、中垣氏の演出によるクラシック音楽とのコラボレーションをお届けした。

(9)クライマックス —ダイナミックなオーロラの数々—

オーロラは、いつでもくっきりハッキリ見えるわけではない。これまで中垣氏が撮影したオーロラの中でも、とくに「あたり」の日のオーロラ映像の数々を、イベントのクライマックスにお楽しみいただいた。

最後には、オーロラ映像を映し出しながら、お客様からの質問を受け付けるコーナーを設けた。いくつかの質問もあって、観客にとってはオーロラを楽しみながら中垣氏と会話もできる貴重な時間となった。



写真 3-11. 明るく光るオーロラ



写真 3-12. 激しくゆれるオーロラ

(10)終演

最後に後方より中垣氏と筆者があいさつをして、スペシャルイベントを終了した。終演後、アトリウムでは中垣氏の写真集やポストカードなどの物品販売があり、さらに中垣氏によるサイン会も行った。



写真 3-13. 終演直後の筆者(左)と中垣氏(右)



写真 3-14. サイン会も大好評

4. アンケート集計

当日参加者には、アンケートにご協力いただいた。今回は1日目にあまりアンケートが集まらなかったため、2日目はアンケートにご協力いただいた方に中垣氏のオーロラポストカードの贈呈、さらに幸運な方にはDVDの贈呈なども行ったため、大多数の方がアンケートにご協力くださった。



写真4-1. アンケート回収(左)と物品販売(右奥)

各日の入場者数とアンケート回答数、および回答率を以下に示す。

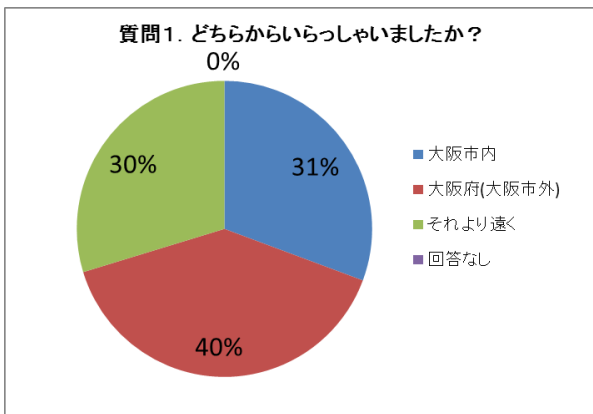
表 4-1. アンケート集計

実施日	入場者数	回答数	回答率
12月25日(金)	253名	55名	21.7%
12月26日(土)	241名	212名	88%

12月25日(金)の入場者数は253名(入場率84.3%)であったが、アンケートの回答数は55名で回答率が21.7%にとどまった。一方、12月26日(土)の入場者数は241名(入場率80.3%)であったが、アンケートの回答数は212名で回答率が90%近く、ほとんどの人が回答してくれた。そこで、今回は26日(土)の集計結果を以下に示す。

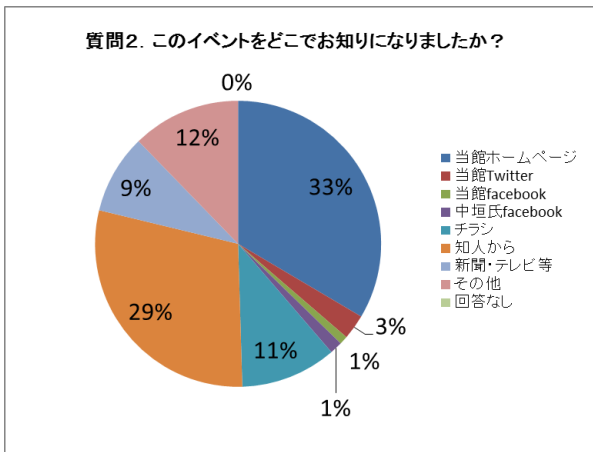
(1)どこから来たか？

大阪が7割以上と、比較的近郊からのお客様が多かった。



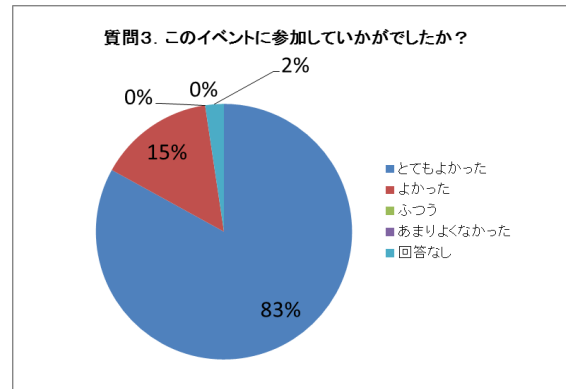
(2)どこでこのイベントを知ったか？

当館ホームページと、知人からというお客様が同じくらの割合が多かった。



(3)満足度

「とてもよかった」が80%以上と、非常に満足して帰られたお客様が多かった。



a)良かった点 (いくつか抜粋)

- ・赤色オーロラを見ることができた
- ・オーロラが表れる条件を知れた
- ・オーロラの写真がとてもきれいだった
- ・とても素晴らしい映像と音楽と解説でした
- ・中垣さんの声がすてきでした
- ・本当のオーロラの下にいるようでした
- ・ドーム全体を使ったスケールの大きさに感動しました
- ・思っていたよりも美しいと感じました
- ・実際にオーロラを見ているような気分になった
- ・オーロラの映像がすばらしかっただけでなく、自然のありがたさも感じることができた
- ・これまでで一番リアルなオーロラを体験できたこと
- ・疑似体験ということだったが、本当に体験できた
- ・わかりやすく写真つきで説明があって楽しかったです
- ・この空間と快適な座席、空調すばらしかったです
- ・今までにない大きさ(全周)、鮮明な映像、楽曲のマッチング

<他、同意見多数>

b)改善、要望点 (いくつか抜粋)

- ・早さ。リアルなスピードが見たい
- ・すこし酔う映像があった
- ・座席指定のチケットが良い
- ・オーロラについての解説をもう少し細かくききたかった
- ・楽曲を歌詞付きにしてほしい
- ・現地の生の音声を
- ・撮影での苦労話や体験について話してもらいたかったと思います
- ・質問タイムとすごいオーロラの映像がかぶってオーロラに集中できなかったのが大人しいオーロラの際に質問タイムをお願いします
- ・解説が入るパートと映像をみるパートにもう少しメリハリがあるととってもいい！
- ・少々首が痛かった

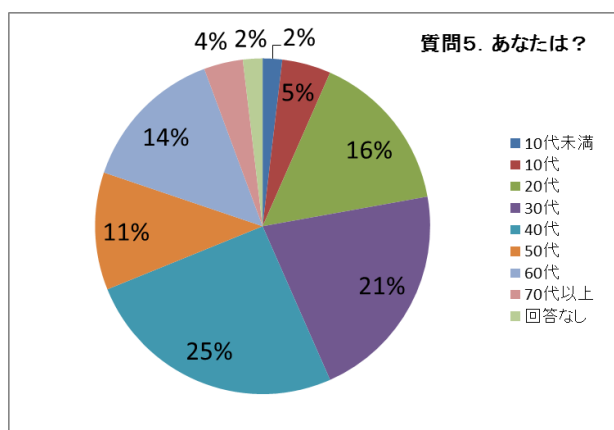
- ・私は動物にはさほど興味はないので、少ししんどかったです
- ・BGM の変わり目が気になった
- ・BGM が大きいところがあった
- ・映像の鮮明さはこの程度のものなのか？

(4)感想(自由記入欄・いくつか抜粋)

- ・とてもよかったので、来年もぜひ企画して下さい(40代女性、他同意見多数)
- ・本当のクリスマスプレゼントいただいた気がします、ありがとう(50代・女性、他同意見多数)
- ・1時間30分がみじかく感じられる位、キレイで良かったです(40代・女性、他同意見多数)
- ・四ツ橋にあった頃しか知らなかったなので、イベント(天体観測)やいろいろ企画されて楽しいです。企画楽しみにしています(60代・女性)
- ・オーロラの映像のみならず、オーロラのしくみや、出る地域、季節なども説明があり、本当に自分もその場で見ているようなリアルな感覚で、とてもステキでした(20代・女性)
- ・大阪の星空解説もあって良かったです！！(30代・女性)
- ・オーロラとてもきれいでした。赤色や緑色に光輝くオーロラに心がいやされました(30代・男性)
- ・中垣さんのお声がステキで心地良かったです(40代女性、他同意見複数)
- ・中垣さんのお話がとてもおもしろかったです。そして、わかりやすかったです(10代女性、他同意見多数)
- ・クリスマスの恒例行事になるよう毎年の開催を希望します(60代・男性、他同意見多数)
- ・西野さんの話し方もこのオーロラの雰囲気にとってもあっていて、幽玄なひとときを楽しませてもらいました(50代・男性)
- ・太陽活動とオーロラが関係していることを知りませんでした(30代・女性)
- ・お二人のキャッチボールしながらのライブでの解説も良かったです(30代・男性、他同意見複数)
- ・もし現地で無音の中で今日のオーロラを見たとしたらどんな感じを持つのだろうかと感じました(60代・女性)
- ・星の説明がきけて良かった(30代・女性)
- ・スープカレーの後のオーロラに感動しました。一度も生で見た事ないけど一生に一度は見たいとおもいました(40代・女性)
- ・美しいオーロラや星空、音楽、中垣氏や西野さんの優しい語り感動し心がいやされました(女性)
- ・オーロラが存在することが地球で人間・生物が生きていられることにつながっていることに感動しました!!(30代・女性)

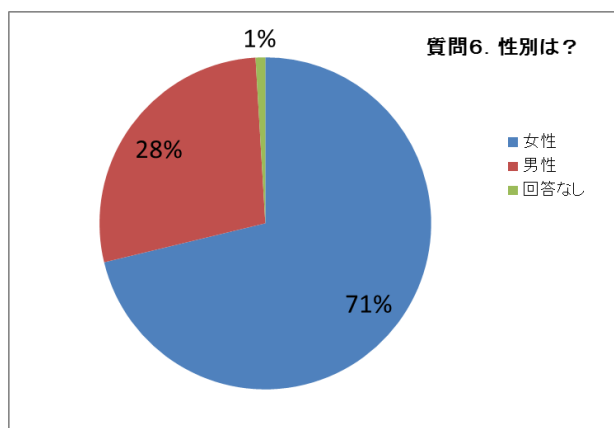
(5)年齢

20代～40代が比較的多いが、さまざまな世代に超越していただけたことがわかった。



(6)性別

7割以上が女性という結果であった。



5. おわりに

中垣氏とのスペシャルイベントは、一昨年のコンサート以来、今回で2度目となる。そして今回は本当の空でオーロラを見ているような演出にするべく、中垣氏と筆者による即興でのかけあいトークを展開した。そのため、2日間で少し異なるトークをお届けすることになったが、アンケートを見ると、そうした演出も概ね評価をいただけたようである。

今回のスペシャルナイトを開催するにあたって、オーロラ映像を惜しみなく提供いただき、さらにはクラシック音楽との演出、そして、極北での体験談や動植物の紹介、撮影秘話などをふんだんにお話いただいたオーロラ写真家の中垣哲也氏に、この場を借りて改めて深く御礼申し上げる。